

健康な食事研究会

◆健康な食事研究会全体

<p>1, 2 月</p>	<p>○ 進捗報告会開催 2月19日(月) 13:30~17:30、日本橋公会堂 4F ホール プログラム 開会挨拶 東北大学 教授・名誉教授 宮澤陽夫 WG1 健康な食事の概念構築 東京大学大学院医学系研究科社会予防疫学分野 教授 佐々木敏 WG2 外食・中食・給食の実態把握 石巻専修大学 理工学部 教授 坂田 隆 WG3 社会実装 人間総合科学大学大学院 人間総合科学研究科 教授 桑田有 招待講演 日本栄養改善学会の取組み 女子栄養大学 栄養学部 教授 石田裕美 パネルディスカッション WG活動を踏まえた今後の展開 モデレーター: ILSI Japan 理事長 安川拓次 パネリスト: 佐々木敏教授、坂田隆教授、桑田有教授、石田裕美教授、 中村丁次神奈川県立保健福祉大学学長 閉会挨拶 ILSI Japan 理事長 安川拓次</p> <p>○ 女子栄養大学訪問 (2/1) 桑田、宇津、太田 ・武見ゆかり教授から女子栄養大学の取組み(認証制度)の情報収集及び ILSI Japan の取組みの経過説明</p> <p>○ 女子栄養大学訪問 (2/6) 安川、太田 ・石田裕美教授表敬訪問(講演依頼)と講演内容の打合せ</p>
<p>3, 4 月</p>	<p>○ 全体会議予定 5月17日(木) 15:00~17:00 ILSI Japan 会議室</p>
<p>5, 6 月</p>	<p>◆ 5月17日 「健康な食事研究会」第5回全体会議 ・各WGリーダーから2月の成果報告会後の活動報告と今年度の活動予定を発表した。 ・今後の全体会議の開催は当初の予定より1か月延期し、9月に第6回、12月に第7回 と年内にあと2回開催する方向で調整中。</p>
<p>7, 8 月</p>	<p>◆ 9月10日 第6回全体会議 各WGの進捗報告と活動計画の報告。第7回全体会議は 1月を予定。</p>
<p>9, 10 月</p>	<p>・9/10「健康な食事研究会」第6回全体会議をILSI Japan 会議室で実施した(参加者 21名)。各WGの進捗状況を確認し情報交換。2019年2月21日成果報告会発表、7 月「イルシー」誌への掲載原稿締め切り、10月栄養とエイジング国際会議で発表、ス ケジュールに沿って、WG毎に勧めていく。 ・11月末に本部総会向けの進捗報告内容を各WG確認する予定。 ・次回は2/4 ILSI Japan 会議室 成果報告会発表内容。</p>

11, 12 月	<p>WG1 第 12 回勉強会 11/22 東大佐々木研で打合せを実施した。 報告書案の最終確認。考察の最後の部分をどうまとめるかについて議論。内容は、“グローバル化”、“ハイテンポ”の時代背景を加味し、① 世界の中の日本という中で日本食を取り扱うこと、② 時系列を持って日本食を取り扱うことの両方を記載した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 報告書として 12/17 に ILSI へ提出し、WG2, 3 に共有した。 ・ 次回は、第 13 回勉強会 1/25 東大佐々木研 次に何をやるかのプレストを行う予定。 <p>WG2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 11 月—12 月ヒアリング完了 9 社 アンケート完了 2 社 ・ 12/19 進捗確認ミーティング (14 名参加) ILSI Japan 会議室 <p>日本惣菜協会からご紹介いただいた中食企業を中心にヒアリング内容を確認した。議事録は WG1, 3 に共有した。</p> <p>A (1 社インタビュー完了、1 社アンケート調査完了) B (3 社インタビュー完了、1 社アンケート調査完了、1 月 1 社インタビュー予定) C (4 社インタビュー完了。12 月中 1 社インタビュー予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ A は継続してヒアリングし、グループ B, C は外食産業に関しても訪問リストを用意して、分担する予定。中食産業はインタビューとアンケート合わせて合計 12 社で終了予定。 ・ 2/4 の全体会議で報告する内容は事前にメールで共有する。 ・ 日本惣菜協会及びご協力いただいた中食企業に 2/21 の進捗報告会をご案内する。 <p>WG3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康経営活動企業への食に関するヒアリングを 11 月に 3 社実施。 <p><累積ヒアリング状況 9 件>・ 地方自治体：2 県・企業：7 社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回ミーティング (1/23 ILSI Japan 会議室) にて、これまでのヒアリングで得られた知見 (9 件) のまとめ (共通する成功・失敗要因の抽出) と、本年の活動内容について議論する。 <p>研究会全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康な食事研究会進捗報告会 (日時：2019 年 2 月 21 日 於：日本橋公会堂) に関して、ILSI Japan 会員企業へメールで 12/20 に連絡した。 ・ 進捗報告会の講演者は、健康な食事研究会の各 WG リーダーの他に以下の先生 2 名をお願いした。 <p>□講演 1 日本食パターンが心身の健康に及ぼす影響について 15:30 ~ 16:00 東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学専攻公衆衛生学分野 教授 辻 一郎</p> <p>□講演 2 健康寿命延伸への取り組み メタボとフレイル 16:00~16:30 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 理事 国立健康・栄養研究所 所長 阿部圭一</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2/4 第 7 回全体会議 ILSI Japan 会議室 進捗報告会発表内容確認、進捗報告会フラッシュレポート担当者決定 (「イルシー」誌 139 号・5 月中旬原稿締め切り)、10 月「栄養とエイジング」国際会議までのスケジュール確認 (「イルシー」誌 140 号・7 月末原稿締め切り、「イルシー」誌 141 号・11 月中旬締め切り)
----------	--

◆ワーキンググループ1(WG1)科学的エビデンスに基づく日本人にとっての健康な食事の概念構築

1, 2 月	<p>第 5 回会合 (1/12) 東京大学佐々木研究室 日本食の論文調査から、「Japanese Food」を読み解く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンバーを A/B に分けて 283 論文 (PubMed) を確認、グループ間で 80 報程度の相違があり、その点を中心に議論した。 ・議論の展開を題材に、佐々木先生から疫学の基本と論文の評価手法を教授いただいた。 <p>第 6 回会合 (2/13) 東京大学佐々木研究室 日本食の定義を探る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・283 論文から 146 論文を抽出、日本食の定義の有無と試験分類を調査した結果、オーソライズされた明確な「日本食」の定義は無いとの結論を得た。 <p>今後の予定 各論文内での「日本食」の定義について、4 基準で分類し、今年度報告書 “Studies on Japanese Diet の研究動向” として取りまとめる (3 月開催予定)。</p>
3, 4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・第 7 回会合 (3/8) 東京大学佐々木研究室 日本食のエビデンス調査として進めている包含基準と除外基準に照らし合わせ、抽出した 146 報の分類を行っている。「日本食の定義」について、定義の有無、引用文献の有無の基準を設け、再検討を宿題とした。 <p><今後の進め方について>「日本食の定義」についての調査結果として今後まとめる予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 8 回会合 (4/10) 東京大学佐々木研究室 <ol style="list-style-type: none"> ① 「日本食の定義」の調査について解釈の見解に不一致があるものについて再検討を実施 ② 報告書「日本食の定義」の調査のまとめ ③ 5/17 全体会議の報告内容 ・今後の予定 第 9 回健康な食事研究会 WG1 日時・場所：6/7 木 15：30－17：30 東京大学佐々木研究室 宿題： 報告書作成に関わる質問項目への回答
5, 6 月	<p>◆ 6 月 7 日 第 9 回勉強会、東京大学佐々木研究室 報告書作成に関わる質問項目への回答と宿題の分担。 次回は 8 月 1 日を予定。</p>
7, 8 月	<p>◆ 8 月 1 日 第 10 回勉強会、東京大学佐々木研究室 報告書作成に関して課題を整理した。先行研究の日本食の定義の分類と第 1 基準の問い「科学的に検証されている定義か」の表現に関して議論した。次回は 10 月上旬で日程調整中。</p>
9, 10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・10/2 東大佐々木研で打合せを実施 (参加者 10 名)。日本食の定義について、文献調査よりピックアップした 283 報を精査し、116 報を対象に 5 基準に分類。 ・第 1 基準を「普遍的な日本食として定義されている；ある集団で開発された日本食の定義が別の集団で検証されている」に変更すると共に、定義された日本食をレベル別 (栄養素、食品、料理、食事) でも分類を終了した。 ・報告書として年内に ILSI Japan へ提出予定。 ・次回は 11/22 東大佐々木研。
11, 12 月	

◆ワーキンググループ2(WG2) 外食・中食・給食の実態把握

<p>1, 2 月</p>	<p>会合 (1/29) ILSI Japan 会議室 ラウンドテーブルまとめからの共通認識。 ・健康メニューと消費者意識のギャップが存在。 健康を前面に出した食事・メニューは売れないが、消費者は健康を意識している。 ・企業のコンセプトが違う、あるいは消費者の意識変容を促す必要があるのかもしれない。 ・各業界の加盟団体や業務構造は想像以上に複雑である。 ・企業の拠り所としての指針、ガイドラインが必要。 現状は「食事摂取基準」、「健康日本 21」。</p> <p>今後の活動について ・2019 年 10 月に開催される「栄養とエイジング」国際会議での成果発表を目標。 ・関連業界への追加ヒアリング（例えば惣菜協会、大学生協）と中食に絞った調査の実施。 ・消費者の栄養摂取量（エネルギー、タンパク質、食塩等）に対する各業界寄与率に関する文献情報調査の実施。</p>
<p>3, 4 月</p>	<p>第 1 回拡大事務局会 (3/15) ・第 2 回 WG2 ミーティングの振り返り ・追加ラウンドテーブルの方向性 ・「中食」の企業調査の方向性</p> <p>第 3 回 WG2 ミーティング (4/20) ILSI Japan 会議室 ・健康な食事に関する情報提供、宅配食は 5 日間でカロリー塩分バランスを設定。学校給食は「学校給食摂取基準」により 1 週間でバランスを設定。微量栄養素は、30 日が目安。 ・5 月 7 日に厚労省が配食の協会を設置予定。 ・「中食」「ファストフード」の定義 ・生活者/消費者の食事・栄養摂取実態に関する文献調査の報告 文献や調査報告書を紹介。「国民健康・栄養調査」データから外食・中食・給食別の摂取カロリー、栄養素量が算出可能か検討。内食/中食の区別ができず、算出は不可能であった。 ・今後の活動について ・ラウンドテーブル (6~7 月) 候補：日本べんとう振興協会、日本惣菜協会等 ・企業インタビュー (下期開始) ① 質問内容を纏める、② 倫理委員会への申請、③ WG2 調査員の宣誓書、相手への覚書の準備 (目的、情報の取扱法を明記する)</p>
<p>5, 6 月</p>	<p>◆ 7 月 10 日 第 4 回ミーティング 惣菜業界の実情、考え方、インタビューする企業の候補等を惣菜協会からヒアリング。質問事項の整理。次回は 7 月 27 日。</p>
<p>7, 8 月</p>	<p>◆ 7 月 27 日 第 5 回ミーティング、インタビュー希望企業の業態別集計結果の確認と作業分担グループ分けを実施した。健康や栄養に関して消費者向けメッセージや取組みを問う質問を整理した。 次回は未定</p>

9, 10 月	<ul style="list-style-type: none"> • 日本惣菜協会本部への訪問可能性の問合せと会員企業メールアドレスを入手。 • 3 グループ ABC に分け、A 赤松先生、B 高田先生、C 坂田先生を調査リーダーに活動することとし、質問紙を確定させた。9/14（4名）・19（7名）・25（5名）の3日間で情報をメンバー全員に共有した。 • 10/22・23・11/2 に中食産業企業へのインタビューを実施。他の企業は調整中。 • 次回は 12 月を予定（進捗確認）。
11, 12 月	

◆ワーキンググループ3(WG3)健康な食事の伝え方開発と社会実装による効果検証

1, 2 月	<p>会合 (2/5) ILSI Japan 会議室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進捗報告会の発表資料の確認 ・活動の方針として、社会実装ありきではなく、健康な食事の持続的実現の視点、アプローチを探す。事例の収集から始める。
3, 4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・会合 (3/19) ILSI Japan 会議室 ・会合 (4/20) ILSI Japan 会議室 ・花王(株)より、「スマート和食®」の社会実装に向けた取組み内容や、留意・工夫点、得られた気づき等を紹介された。 ・今後は、ラウンドテーブルを実施し、その成功要因や失敗要因の類型化を図ることとした。 ・類型化を行うためのフレームワークを作成し、今後はそれをベースにラウンドテーブルを実施する。
5, 6 月	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 5月23日 長野県健康福祉部健康増進課を訪問し、「信州 ACE プロジェクト」に対し、当 WG 勉強会での講演を依頼し、快諾いただいた。 ◆ 6月28日 リーダー・サブリーダー打合せ 今後の方向性と役割分担の確認。健康経営優良企業のヒアリング先候補の確認。 ◆ 7月24日 勉強会 長野県ヒアリング。次回は8月8日。
7, 8 月	<ul style="list-style-type: none"> ◆7月24日 勉強会、長野県健康福祉部ご担当者様による講演会(信州 ACE プロジェクト) ◆8月8日ミーティング 健康経営企業の食を中心としたインタビューを通して社会実装の類型化を行うために、長野県の事例をメンバー間で意見交換した。今後、参加メンバーが1社1団体訪問する方向で事例を蓄積する。次回ミーティングは11月末を予定。
9, 10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・健康経営に関して訪問候補企業のリスト化、健康経営活動企業への食に関するヒアリングの実施。 ・WG3 参加企業 1 社が 1 団体を訪問する予定で訪問先の調整中。(10月1社訪問済み。11月中に3社訪問予定) ・次回は12月を予定(進捗確認)。
11, 12 月	